

北九州市議員
大久保むが

無我夢中

大久保むが 市政レポート No.5

平成22年度予算を可決

平成22年度の予算を決める北九州市議会が2月25日～3月29日の日程で開かれました。

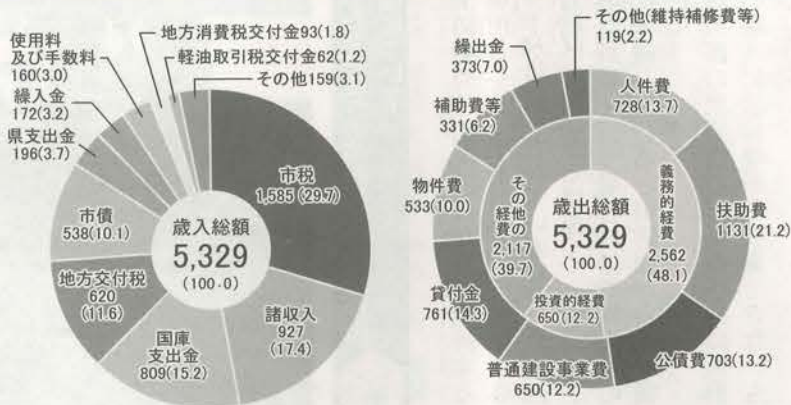
依然として厳しい財政運営を強いられた状況の中、「市民の生活を守る」「未来をひらく」「持続可能な財政を確立する」の3つの柱に基づいた一般会計は約530億円（前年比30%増）、総額1兆133億円（前年比42%）の予算となりました。

総額では減少となっていますが、これは公債償還特別会計の借換等の減少によるものや、北部福岡緊急連絡管整備事業などが減少したもので、全体で600億円の減少となっています。

市財政の柱となる市税は1,585億円で前年比38億円（-2.3%）減少しました。このうち個人市民税の減少は461億円、前年比11億円（-2.4%）の減少に留まりましたが、法人市民税は、企業収益の減少から116億円、前年比32億円（21.5%）と大きく減少しました。

国の三位一体の改革により減少傾向にあった地方交付税は、市税等の収入の減少により、前年比

2010年度北九州市一般会計当初予算



※臨時財政対策債とは、地方の財源不足を交付税で補っていたものを、交付税の縮小により不足した額について、地方公共団体が自ら地方債を発行して財源を補うもの。この地方債の元利償還金は後年その全額が交付税措置（国が償還）されることとなっています。

約13%増の830億円（うち210億円は※臨時財政対策債）となっています。

効果の見え始めた 行財政改革

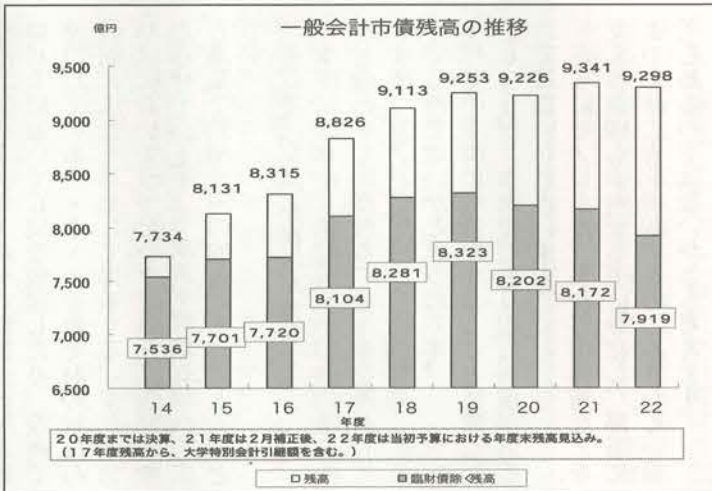
一般会計の市債残高は増加を続け、北橋市長就任時、本市の財政は最も厳しい状態にありました。平成19年に9253億円、過去の政策において発生した大型事業の償還がピークを迎えた平成21年には市債残高は9341億円まで増加してしまいました。

このまま財政改革をせずにこれまで通りの予算編成を行っていたら、本市の財政は破綻直前の状況になっていたと言われ、まさに第二の夕張市のようになっていたかも知れません。財政がいつたん破たんすれば、病院や福祉、教育、交通など私達の生活に直結したサービスの低下や廃止、税金や公共料金の値上げなどにつな

大久保むが市政相談所
〒807-0866
北九州市八幡西区則松2-9-2
TEL:093-863-5530 FAX:093-863-5531

具体的な 主な予算額

投資的経費の確保	649億4,800万円
中小企業融資の増額と制度の拡充	655億
子供手当	162億3,300万円
乳幼児医療費支給制度	24億3,800万円
中学校完全給食	22億1,700万円
放課後児童クラブの整備拡充	21億9,400万円
生活関連道路の整備	1億500万円



がります。しかしこの3年間の経営改革の努力によって、これまで増加傾向にあった市債残高も、今年度は僅かではありませんが減少に転ずるなど、徐々に財政改革の効果が見え始めたといえます。

今後はこの財政改革路線をしっかりと堅持し、市債の減少を目指しての目標値を設定することなどを求めていかなければなりません。

北橋マニフェスト 総仕上げ

北橋市政の総決算となるこの予算で、マニフェストに掲げた中学校給食の完全実施、学童保育の全児童受け入れ、街なか居住の推進、さらにはこれまで実験的だった環境への取り組みを、産業、雇用、観光などあらゆる面に裾野を広げ、チャンスや成長への道を拡大することに成功しつつあります。

先日本市は経済産業省から、IT技術の活用で電力の効率的な利用を図る次世代エネルギー・社会システム実証事業（スマートグリッド）の実証実験地域の認定を受けました。

こうした環境を重視した政策へのシフトは新たな産業革命のはじまりともいえ、全国でもトップランナーを走る都市として、力強く本市の成長に結びつけていかなければなりません。

一般質疑にのぞむ

2月3日議会では一般質疑の機会をいただき、通算2度目の質問に立たせていただきました。議会に上程された予算案に係わる事案についての質疑を行います。
市政の現状を踏まえて、将来の礎をしっかりと作るために、以下市長に質しました。

八幡東西消防署の建て替えの見通しについて



Q 八幡東消防署と東部方面本部を置く小倉北消防署は、建築後50年以上が経過しており老朽化が著しく、また、敷地が狭いために訓練も十分に行うスペースもないのが現状と聞いています。



A 八幡東消防署については、建築後56年で、市内の消防署の中で最も古く、狭隘で車両の大型化に対応できていません。八幡西消防署は、建築後34年で、老朽化がすすみ、西部方面の拠点消防署としての機能が十分でないことなどから、いずれもできるだけ早い時期の整備が必要であると考えています。

このため、来年度両署を再配置する際の移転先適地などについて、基礎的な調査を行う予定です。

本市西部地区への消防団の訓練場所の整備について



Q 消防職員や消防団員が普段訓練する際の場所として、小倉北区東港に訓練研修センターが設置をされていますが、八幡西区や若松区の西部からは遠く、一定の広さが必要な訓練を行う場合には訓練場所の確保に苦慮していると消防団から話を聞きました。

A 広いスペースが長期間にわたって必要となるポンプ操法の訓練の場所については、その確保が難しい場合があります。消防団と消防署・消防局が協力してきて対応してきました。西部地区は訓練場所の確保が難しいという面もありますので、ご指摘の市有地の有効活用を含めまして、訓練場所の確保につきまして前向きに検討して参りたいと考えております。



新たな事業評価と財源の確保について



Q 本市の財政は市の経営プランにより

平成21年度の最も厳しい年度を乗り越え、市の経営改善に向けた取り組みが功を奏していることを感じます。

しかし、もともと自主財源の少ない本市にとつて、収入を安定させながら市民のニーズに添えていくことは、これからも大きな課題といえます。そこで無駄を排しながら少しでも自主財源を獲得する、または財源を生み出す事業も行っていかなくてはならないと考えます。

本市では平成20年度からはじまった予算編成過程の全面公開により、市が予算要求に対して市民からの意見を募集することを始めました。

さらに平成23年度の予算編成に向け、新しい行政評価システムを取り入れ、個々の事業の評価を行うとのことですが、今回導入されます行政評価システムの概要をお聞かせ下さい。

A これまで「北九州市経営基本計画」及び「北九州市経営プラン」に基づきまして、終始改善に取り組んできていたところで、平成19年度は148億円、平成20年度は155億円の効果をあげており、4年間で40億円程度の効果額となります。

平成22年度予算においては、財政調整基金の取り崩しを抑制いたしました。単年度収支の均衡を自覚を立てることのできたところとです。

現在検討中の新たな行政評価システムにつきましては、本市の施策、事務事業の成果を毎年度検証いたしました。結果を次の予算編成にいかす「PDCAサイクル」を構築いたします。市民への説明責任を果たし、職員の意識改革にもつなげようとするものでございます。

概要につきましては、主要施策の推進に係わる約70の事務事業を対象として、各担当局において、目標を設定した上で事業を実施し、その結果を事務事業レベル、施策レベルでそれぞれ自己評価をします。そして担当局以外の視点から一定の内部チェックを行いまして、北九州市都市経営戦略会議や、市民の意識調査なども参考にしつつ、最終的な評価結果を取りまとめます。評価結果は議会に報告するとともに、予算編成方針など次の年度の市の方針の策定に活用して

ていきます。こうした評価結果を平成23年度の予算編成にも反映させて、基本構想・基本計画の効率的、効果的な推進に努めていきたいと考えます。

税以外からの財源確保について



Q 本市では独自の収入確保のために、市役所エレベーターホールや八幡西区役所市民ロビーにおいてCMを放送したり、役所で使用している大・中・小それぞれの封筒の裏側に広告を募集して掲載する、また市営バスにおいてラッピングされた広告バスを走らせています。平成20年度は封筒への広告事業で約80万円の収入があったとのことですが、

そこで、いくつか提案を致します。本市には本庁、区役所やその他の事業所など合わせて約900台もの公用車を所有しています。こうした車両にも広告を募ることができるのではないかと考えています。

さらにはモノレール、また都市高速などを支える橋脚も市内至る所に存在し、場所によっては広告を掲載するにふさわしい場所もあるのではないかと考えます。

市や国が所有するあらゆる資源を有効活用する気持が必要だと思えます。こうした取り組みで得た収入を、これから重要性が増す子育てや環境などの予算として活用することを検討してはどうでしょうか。

A 本市では自主財源確保の観点から、市政政日より等の各種印刷物、市ホームページ、本庁・区役所庁舎への広告掲載に加えて、門司港レトロ列車などのネーミングラ



イツなど積極的に広告事業に取り組んでいきます。その結果、平成18年から平成20年までの3年間で約2億1000万円広告料収入を得ています。

公用車については、屋外広告条例により現状では困難ではありますが、今後条例による規制のありかたについて、都市景観保全の要請や他都市の例なども踏まえつつ研究してまいりたいと考えます。

また、モノレールや都市高速道路およびその橋脚への広告掲載については、屋外広告条例のほか交通安全確保の観点などから道路法により規制をされています。近年、道路占用許可の基準について国の取り扱いが一部緩和されており、今後その動向も見守っていきたく思います。

広告事業収入の確保は重要な課題と認識していますことから、新たな媒体の拡大に鋭意努めてまいりたいと考えます。

本市の街づくりについて



Q 本市の人口は2033年におよそ100万3000人、そして2010年2月現在では98万3000人と、この7年間で2万人も減少してしまいました。現在では下げ止まりつつあるものの、いまだ減少の一途を辿っています。

しかし時代の移り変わりで家族構成が変化し、核家族化が進化したことにより、本市の住宅地の造成は現在もなお続いているというのにもまた現状です。

国立社会保障人口問題研究所によれば、北九州市のみならず、これまでの少子化対策の遅れなどが響き、日本の人口そのものが2033年には1億500万人、2050年には1億人を割り込み、最も悪い推計では800万人余りという推計も出されています。同じく本市の人口も2033年には81万1000人になるとの推計も出されています。

人口が減少しつづけると予想される本市において、このまま市街地の広域化が進めば、やがて郊外の住宅地の人口が減少し限界集落の増加や道路や学校、電気および水道・ガスなどインフラの維持、さらには交通機関の維持などに膨大なコストがかかり、また人口減による税収の低下などと

重なることで将来的に本市の財政を大きく圧迫することがたやすく想定されます。街なか人口を呼び戻し、将来的な都市の財政負担を軽減していくというコンパクトシティの取り組みはさらに重要性が増すと考えられ、取り組みを加速しなければならぬと考えますが、新年度ではどのような取組みを行うのでしょうか。

A 本市は政令市の中で高齢化率が最も高く、超高齢化・少子化社会の到来を見据え、誰もが便利で快適に日常生活を送ることができるとコンパクトシティの実現が重要とされており、「元気発信！北九州プラン」においてもこの考えを盛り込んでいくところです。これまで、街なかを重点とした道路・公園などの基盤整備の充実や、駅のバリアフリー化などの利便性の高い公共交通ネットワークづくり、特定優良賃貸住宅の整備などによる街なか居住の推進、小倉・黒崎における中心市街地活性化などに取り組んできたところです。

平成22年度予算では「中心市街地暮らしにぎわい再生事業」など、都市機能の強化を図りつつ、街なか居住を推進することにより、賑わいのある街づくりに積極的に取り組むこととしています。

既存の街の再生を図り中長期的に取り組む、誰もが便利で快適に日常生活を送ることができるとコンパクトシティの実現に向けて今後とも努力をしていきます。

企業誘致について

Q 本市は企業や産業の誘致を行うために様々な企業誘致における優遇措置や支援策を設けています。



企業を誘致するためには、どんなに企業が進出しやすい立地条件があったとしても、住む人たちにとって暮らしやすい街でなければ、企業誘致をする上で企業が二の足を踏むことになるのではないのでしょうか。これからの時代は「企業を誘致する」という発想と併せて、「人を誘

致する」という発想が極めて重要になってくるのではないかと思います。

「人を誘致する」という考えに基づいて、企業誘致を図っていくのも一つの考え方はないかと思っておりますが、企業誘致を所管する部局は、住宅を所管する部局をはじめとして、他部局と連携した企業誘致が必要と思えます。

A 企業誘致にあたりましては、関係部局との連携によりまず企業誘致が大変重要だということは認識しております。これまでもこのような観点から積極的に取り組んでまいりました。今後、企業誘致にあたりましては、これまでの経済的なメリツトや良好な住環境に加えまして、環境モデル都市や子育て日本一・教育日本一などの取り組みを各局の協力を得て紹介することにしていきます。

北九州市漫画ミュージアム開設準備事業について



Q 現代の日本を代表する文化のひとつとして世界でも高い評価を受けており、また日本の漫画やアニメーションの裾野は広がり大きくなりつつあります。

本市でも（仮称）北九州市漫画ミュージアムの整備が計画をされておりましたが、先月新たな整備箇所として、小倉興産21号館（旧ラフォーレ原宿・小倉）を選定したとの発表がありました。

小倉興産21号館を選定した理由と、今後の整備計画についてお尋ねします。

二点目に、全国各地に開設された同様な施設には、成功した事例もある一方、開業後数年経つと、入場者数が減少し続ける施設も全国に多々あるというのもまた事実です。

将来にわたっての採算性やコンセプトはどのようになっているのでしょうか。

A この漫画ミュージアムにつきましては、小倉地区中心市街地活性化基本計画の区域内であること、また交通の利便性が良く、既存施設を活用でき、整備コストが軽減できること、などの点から候補地を探して参りました。

候補地の中で、小倉興産21号館の所有者より、「漫画ミュージアムを中核として、ビル全体を漫画による統一コンセプトビルとして再生し、北九州市と日本の新たなシボル施設をつくる。」という提案がありました。

市外や海外からも本市への集客が期待でき、漫画関連店舗が集積することにより、小倉駅北口全体の周遊性を高め地域の活性化に寄与できる、などの点を評価し、同ビルを新候補地に決定したものであります。

今回の整備にあたりましては、本市の投資リスクの最小化とテナントの誘致促進を目的に、二段階に分けた協定締結を行います。今年の5月頃までに基本協定を締結し、テナント誘致が満足いくものであることを確認した上で本協定を結びます。

コンセプトですが、「展示」「閲覧」「創造・育成・交流」の3つの機能を基本コンセプトにしまして、オリジナルの企画展の定期的な実施、人気漫画家の大型企画展、人気

視察報告

直方市行政視察

今回の一般質問において私は、市が保有する車両に広告を掲載し、収入増を図るよう提案しました。

今回、同様の目的で大牟田市を視察して参りました。今回は国に先駆けて事業仕分けの導入を行い、市が保有する車両に広告を掲載する取り組みをはじめた直方市を視察してきました。

直方市は平成18年、議会において事業仕分けの必要性が問われ、平成19年には第一回の事業仕分けが行われました。職員の採用抑制や部局の統廃合、議員定数の削減などが行われ、一定の成果をあげている、とのことでした。そういう中で直方市は車両広告事業の導入を図り、直方市が所有する28台の車両に広告が掲載され、現在年間約30万円の収入源を確保しているとのことでした。

漫画数万冊を読める閲覧コーナー、トークイベント、体験型事業などを行っていく予定であります。今回漫画関連店舗などが集積するコンセプトビルに入居することで、相乗効果による採算性の向上も図れるものと見込んでおります。

新球場整備方針等策定調査事業について



Q 現在、整備が検討されている新球場ですが、本市の財政規模、集客力などをしっかりと考慮することはもちろんのこと、過去のハコモノ行政と言われた反省を踏まえ、設置当初からあまりにも過大な施設になり将来に負担を残さないような施設、「北九州市の身の丈にあったスタジアム」をコンセプトに据えるべきと考えます。

また建設にあたっては世界の環境首都を目指す本市らしさを具現できるものに創意工夫を求めたいと考えています。ご見解を伺います。

A サッカーやラグビーなどの球技専用の施設、交通環境が整い、市民のみならず対戦チームの応援者など、多くの人が訪れやすい施設、単に入場者数だけでなく、まちの活力向上に貢献できるような施設、太陽光など自然エネルギーを最大限に活用するとともに、雨水の再利用を図るなど、市民が誇れる施設を目指したいと考えております。

拡張性ですが、民間活力の導入など効果的・経済的な事業実施のための整備手法、最適な構造規格による建設コストの削減の工夫などの整備方針を策定する予定で、成長するスタジアム、いわゆる球技場の拡張性についても詳細に検討していきたいと考えています。



青色街灯を導入しました。青い光に精神的な作用があり、心理的に落ち着かせる効果があるとされていますが、逆に科学的な根拠などは明確ではないとされています。しかし各地で青色街灯を導入している地域では、犯罪の発生率が低下したなどの報告もあり、賛否があるのも事実です。

下関市で導入された地区の自治会長さんのお話では、その地域はもとも防犯意識の高かった地区で、心理的効果はわからないが、結果として住民の防犯意識の更なる向上と、防犯に取り組んでいる象徴としての街頭の設置があることで、押し売りなどの悪質な訪問販売などの減少、また住民から「心強く感じる」などの声もあるとのことでした。精神的な効果というより、2次的な効果の側面も大きい、と感じました。

下関青色防犯灯

青色防犯灯とは、青い色の光が精神を落ち着かせ、それが犯罪の抑止効果がある、と言われています。現在では奈良や京都などの地域で導入されているのですが、本市の近隣で既に設置されている下関市へ視察に行き、地元自治会長さんからお話を聞くことができました。

青色防犯灯については、これからの研究を続けてまいります。



暴力追放に向けて断固戦つ



福岡県で、国内はじめての暴力団排除条例が制定されました。これによって許認可や補助金、物品調達など暴力団に利益を与えるおそれのある事務事業から暴力団を除外することができるとなっています。

また暴力団運動のリーダー宅への発砲事件、企業への発砲など暴力団が関与したと思われる発砲事件などが相次ぎ、北橋市長のもとへも脅迫状が送られるなど、暴力追放を願う市民に対しての嫌がらせや脅迫など平然と行われています。こうしたことを断じて許してはなりません。

私達はこれからも暴力に負けないよう、暴力団を排除する決議を市議会として行い、警察、県市とさらに力を合わせて暴力の追放に向けた取り組みを進めてまいります。



工場萌えって何？



北九州市は四大工業地帯と言われた地域でもあり、多くの巨大工場が市内にあります。こうした工場がある風景は、残念ながら今でも環境汚染のイメージがつきまわっているのが現状ではないでしょうか。



また私達北九州市民にとって、工場が見える風景は、ごくありふれた風景であり、それを見に行こうという考えはなかなか持ち合わせていませんでした。しかし近年、工場群を見て回るツアーが関東などで人気を集めています。中でも神奈川県川崎市では屋形船を利用して、夜の工場見学が行われており、私もその模様を視察に行きましたが、ツアーは募集と同時に満席になるほどの盛況でした。

私達にはありふれた工場であり、暗記には自信があつて、幾多の試験を乗り越えてきたのですが、それは予算議会の一般質疑のこと、原稿の一部が、この時は...、議長...、素直にあやまって取りに行かせてもらいました...、と、前代未聞だと...、



すが、北九州工場地帯というところは国内有数の工場地帯であり、その姿に誇り、畏敬、感動を覚えるのは私だけではないと思います。この、工場が見える風景をこれまでの煙や公害といった負のイメージではなく、多くの人に、北九州市の企業は他の都市よりも厳しい環境基準で操業しているということなど知ってもらい、こうした工場が見える風景を北九州市だけにしかない貴重な資源として捉え、誇るべき北九州市の姿として見て欲しいと思っています。

市議会では、昨年12月議会で門司区の奥村直樹市議がこの話を提起し、市長も大きな興味を示し、その後たくさんの方にも取り上げられることとなりました。これを契機に「工場」のイメージが払拭され、環境の改善を果たし、観光の要素を兼ね備えた北九州市の工場群のある風景を、より多くの人々が訪れ楽しめるよう取り組みを進めていきたいと思っています。

キタQに 無我夢中!! No.5



前代未聞の忘れもの?!の巻

今回は 実話で あります...

【前代未聞】セシマイ これまで見たことも聞いたことも無いよう変わったまたはあきれたこと

暗記には自信があつて、幾多の試験を乗り越えてきたのですが、

それは予算議会の一般質疑のこと、原稿の一部が、この時は...、議長...、

素直にあやまって取りに行かせてもらいました...、と、前代未聞だと...、

1月・2月・3月の活動記録

- 1月
- 6日(水) 観光産業検討会議
 - 8日(金) 会派団会議
 - 9日(土) 民主党福岡県連総務部会会議
 - 10日(日) 八幡西消防団出初表彰伝達式
 - 11日(月) 折尾西市民センター餅つき 成人の日街宣活動
 - 14日(木) 八幡西区議連 議員黒崎文交地区説明会
 - 15日(金) 環境にやさしい特別委員会視察
 - 20日(水) 会派団会議
 - 北九州市の農林業を考える会勉強会
 - 21日(木) 北九州市の農林業を考える会 新人議員研修会
 - 22日(金) 異業種交流会で講演
 - 23日(土) 大学生と交流会
 - 24日(日) 北九州市障害者スポーツセンター視察 門司競輪場跡地視察
 - 25日(月) 衆議院議員城井崇新春の集い
 - 28日(木) 直方市視察
- 2月
- 3日(水) 総務財政委員会
 - 5日(金) 千代学童保育クラブ視察 市議会勉強会
 - 6日(土) 糸島市議会議員選挙応援
 - 7日(日) 地域少年野球卒団式

- 9日(火) 東芝北九州工場視察
 - 10日(水) 北九州市非核平和都市宣言記念式典 会派団会議
 - 12日(金) 川崎市へ視察
 - 北九州市ファンクラブ
 - 13日(土) 川崎市民ミュージアム 夜の工場見学ツアー
 - 14日(日) よくわかる指定都市財政分析講習会
 - 15日(月) よくわかる指定都市財政分析講習会
 - 16日(火) 下関市青色防犯灯視察
 - 17日(水) 市民スポーツ賞表彰式
 - 18日(木) バスハイク見送り
 - 北九州地区暴力追放総決起集会
 - 19日(金) 会派団会議
 - 20日(土) 民主党福岡9区常任幹事会 民主党福岡県連総務部会
 - 22日(月) 会派勉強会
 - 25日(木) 北九州市議会開会 会派勉強会
 - 26日(金) 会派勉強会
 - 28日(日) 宮若市議選応援
- 3月
- 2日(火) 本城学童保育クラブ視察
 - 4日(木) 市議会本会議
 - 5日(金) 市議会本会議
 - 6日(土) 宮若市議選応援
 - 7日(日) 宮若市議選応援

◎この市政レポートは、市議会各派に交付される政務調査費と後援会費を用いて作成しています。 ◎この印刷物は再生紙を使用しています。 ◎重複して送付されたり、宛名変更などがある場合は、お手数ですが大久保心が事務所までご一報ください。